



RESASで読み解く鹿児島県の現在と未来 Ⅲ

写真協力：公益財団法人 鹿児島県観光連盟

内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭

松浦 義昭 氏



内閣府 R E S A S 専門委員。経済学博士。
著書に『R E S A S の教科書』（共著、日経 B P 社）。

内閣官房・内閣府と実践的な地域人材育成教育プログラムを共同開発。
実施結果を踏まえて利用可能な教材やカリキュラムを体系化し提供を行っています。2016年から2020年までに約6,000人が学んでいます。

R E S A S（地域経済分析システム）について、全国で講演。
また、政府機関、自治体、教育研究機関、民間企業等において地域分析の助言や地域分析の研修を担当するなど R E S A S の利活用を研究。

研究テーマは、内閣官房及び内閣府との連携教育の実践と評価。
産官学金連携の教育研修プログラムの開発・支援。
EBPM：Evidence-Based Policy Making（証拠に基づく政策立案）支援。

第3部

RESAS マップ

調査分析の手法と実践

04

人口

POPULATION

今回の訪問は
霧島山系の豊かな自然や観光資源を有する始良・伊佐地域です。



始良・伊佐地域 人口に関するデータ分析のご相談



人口に関する分析のご相談

移住・定住を担当する田中です。

移住・定住の促進や子育て支援に取り組んできました。また、交流人口の拡大にも力を入れています。

地域の社会増減に関しては、20歳台を中心に大学進学・就職による若者の移動の実態を把握したいと考えています。

また、地域の自然増減に関しては、出生率や出生数、さらに将来の人口予測などのデータから今後、取り組むべき課題を明らかにしたいと考えています。

人口に関するデータを収集して地域の現状や課題を整理しておきたいと考えていますが、どのようなデータに着目すればよいのでしょうか？

RESASには人口に関する様々なデータが収録されています。

また、RESASの機能を活用して自治体を合算して表示することにより、行政区を超えた連携を検討する際などに役に立ちます。

さて、ご相談の内容ですが、さっそく分析の流れ（次ページ）を参考に、地域の人口に関する現状や課題を整理しましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

地域の人口の把握・人口マップ

地域の人口の現状と課題を整理していきましょう。

分析 1 地域の人口の推移は？

分析 2 地域の人口ピラミッドの変化は？

分析 3 社会増減・自然増減地域 人口が増減する要因は？

分析 4 地域の転入・転出の状況は？

分析 5 大学進学による人口移動は？

分析 6 地域の出生率の状況は？

※ 目的に応じて様々な分析方法があります。上記はその一例です。

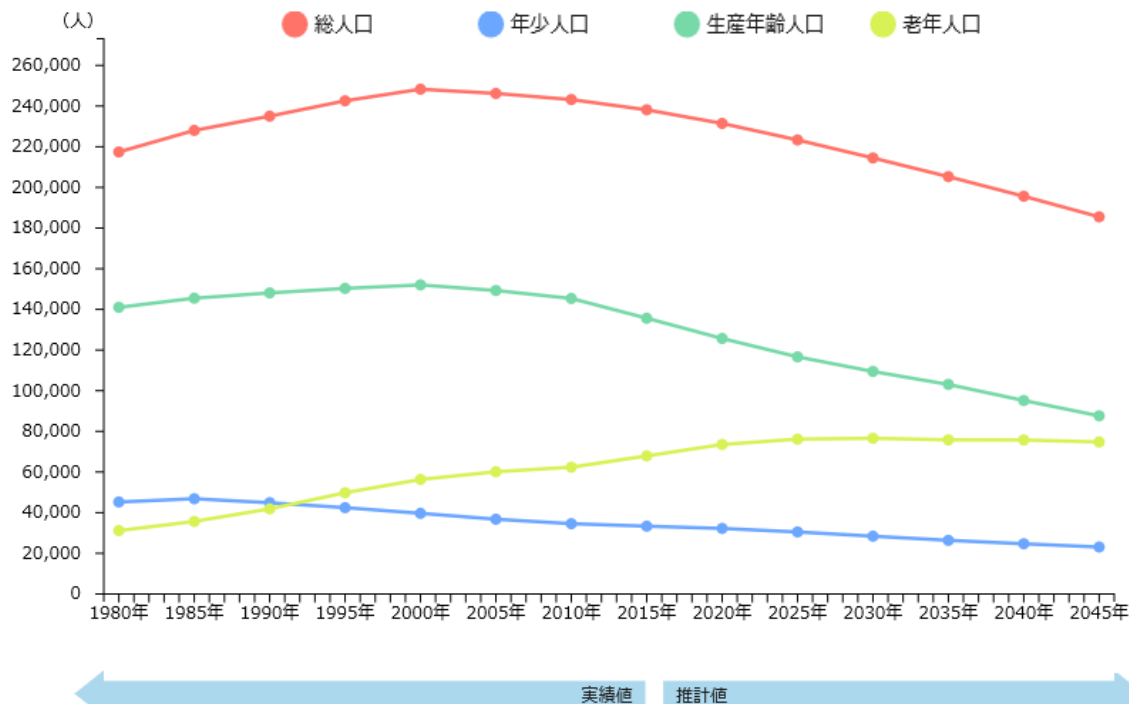
地域の人口の推移は？

分析 視点

地域の人口について、年齢階級別に人口構成や人口推移をグラフで表示して把握することで、将来のインフラ整備の需要や医療・福祉政策等についての検討に活用することができます。

人口推移

鹿児島県霧島市、伊佐市、姶良市、湧水町



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
 【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

人口構成はどのように
推移しているだろうか？

RESAS Key Point

RESASでは、複数の自治体を合算して人口構成や人口推移をグラフに表示させることができます。本グラフは、姶良・伊佐地域の霧島市、伊佐市、姶良市および湧水町の人口を合算したものです。今後の政策連携の議論にも活用できます。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

- 姶良・伊佐地域の総人口は2000年（248,297人）をピークに減少傾向に推移している。
- 1995年以降、年少人口と老年人口が逆転。年少人口が減少する一方で、老年人口が増加している。

地域の人口ピラミッドからわかることは？

分析視点

地域の人口ピラミッドから、①地域の将来の労働力供給の予測や②地域に将来必要となる医療・介護体制等のサービスやインフラの需要を予測します。

人口ピラミッド

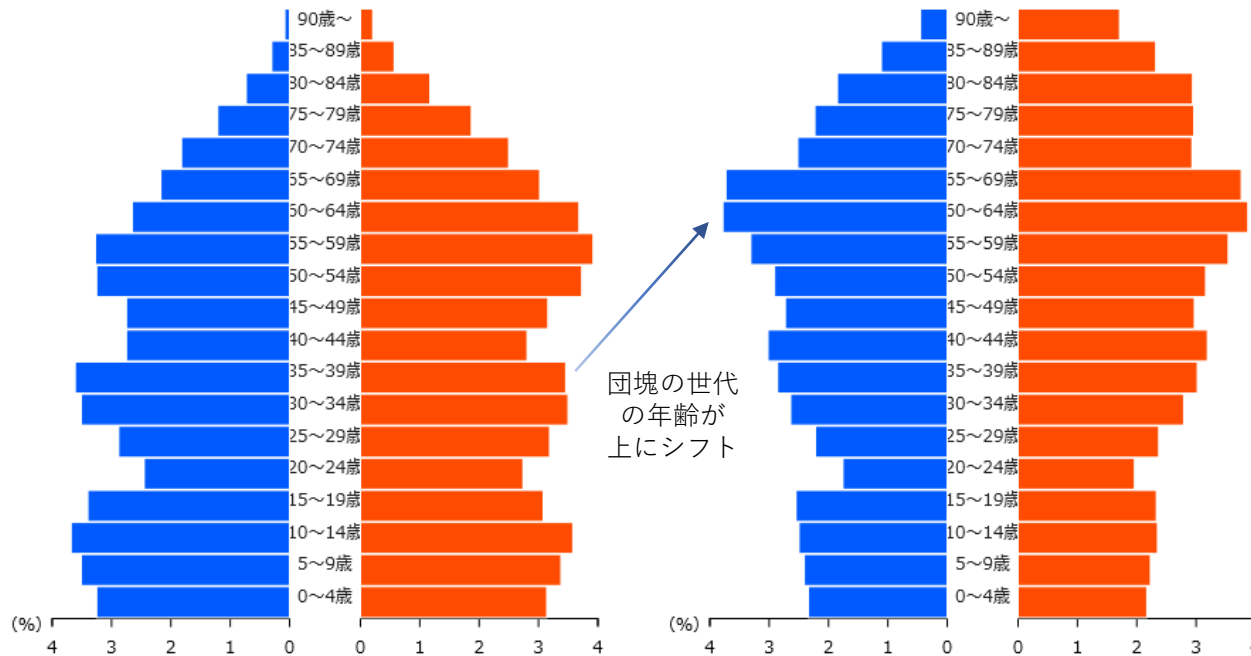
鹿児島県霧島市、伊佐市、姶良市、湧水町

1985年

2015年

■ 男性 ■ 女性

■ 男性 ■ 女性



団塊の世代
の年齢が
上にシフト

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

2040年の人口ピラミッドはどのような形だろうか？

RESAS Key Point

どの年齢階層が最も人口が多いでしょうか？
その年齢階層がこれから必要とする社会インフラやサービスは何でしょうか？

人口が多い団塊の世代および団塊ジュニアに該当する世代は、時代とともにどの年齢階層に達しているのでしょうか？

内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生



1985年

老年人口（65歳以上）：35,684人（15.65%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：145,500人（63.81%）
年少人口（0歳～14歳）：46,850人（20.55%）

2015年

老年人口（65歳以上）：67,912人（28.51%）
生産年齢人口（15歳～64歳）：135,662人（56.96%）
年少人口（0歳～14歳）：33,360人（14.01%）

- 姶良・伊佐地域の1985年から2015年の30年間の人口ピラミッドから、1985年の35歳～39歳の年齢層（団塊の世代）が、2015年には65歳～69歳の年齢層にシフトしていることがわかる。

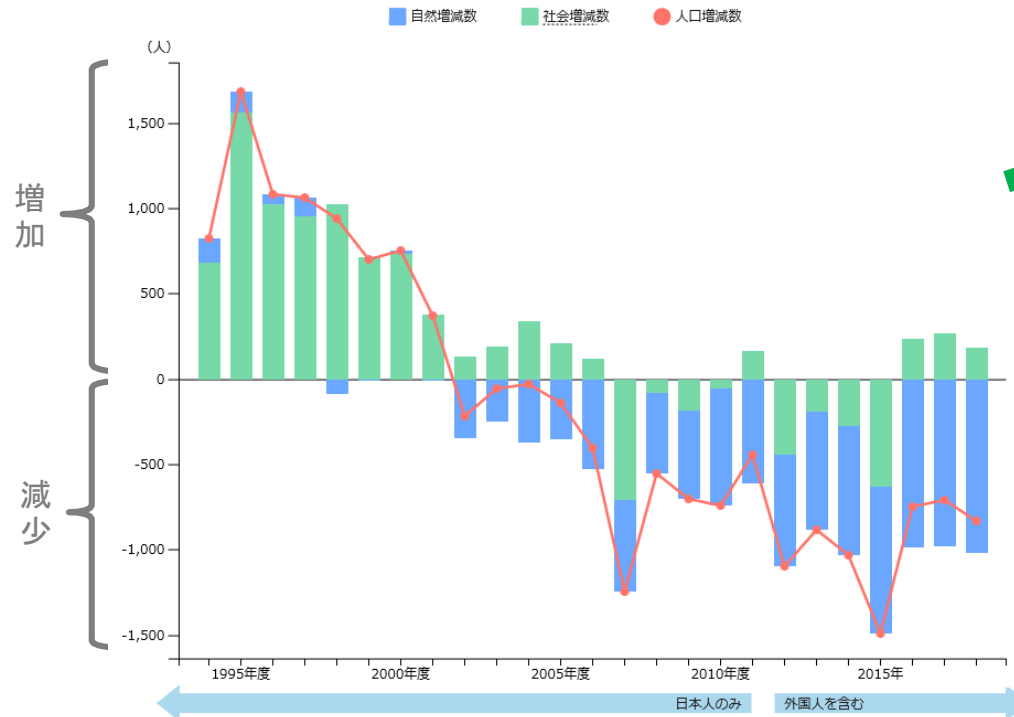
(概要) 地域の人口が増減する要因は？

分析視点

地域の人口増減について、自然増減と社会増減の2つの要因に分解して把握します。今後、自然増減と社会増減のどちらの対策を重視すべきかを検討します。

自然増減・社会増減の推移(折れ線)

鹿児島県霧島市、伊佐市、姶良市、湧水町



社会増減

地域の住民が地域外に転居（転出）したり、地域外から転居（転入）することなどによる人口の増減のことをいう。
地域外に出て行く人が多い時は「転出超過」、地域内に入ってくる人が多いときは「転入超過」となる。

自然増減

出生と死亡による人口の増減のことをいう。
出生数が死亡数を上回る場合には「自然増」、逆に、出生数が死亡数を下回る場合には「自然減」となる。

【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」再編加工。

【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

- 2001年度までは人口増であったが、以降は自然減、年度によっては社会減となる年度もあり、人口減に転じている。

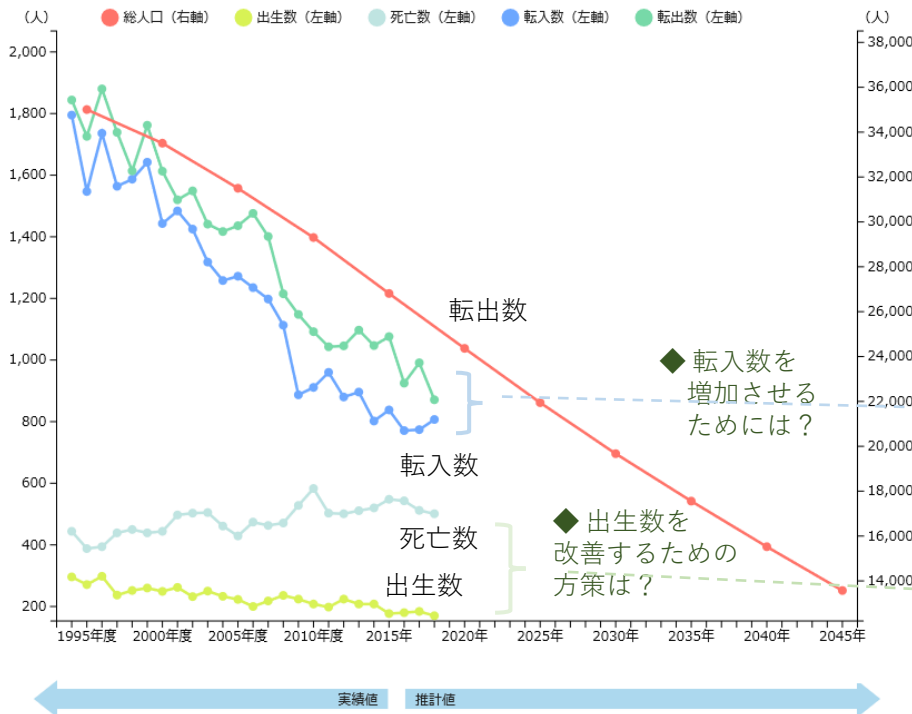
(詳細) 地域の人口が増減する要因は？

分析 視点

地域の人口増減について、自然増減と社会増減の2つの要因に分解して把握します。
自然増減（出生数、死亡数）と社会増減（転入数、転出数）の変化に着目します。

出生数・死亡数 / 転入数・転出数

鹿児島県伊佐市



社会増減

地域の住民が地域外に転居（転出）したり、地域外から転居（転入）することなどによる人口の増減のことをいう。
地域外に出て行く人が多い時は「転出超過」、地域内に入ってくる人が多いときは「転入超過」となる。

自然増減

出生と死亡による人口の増減のことをいう。
出生数が死亡数を上回る場合には「自然増」、逆に、出生数が死亡数を下回る場合には「自然減」となる。

【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

- 伊佐市の人口は1995年度（35,007人）をピークに減少。以降の人口推移を自然増減と社会増減2つの要因でみると「転出数が転入数を上回る社会減」と「出生数が死亡数を下回る自然減」の傾向にある。

(社会増減) 転入者はどこから来る？ 転出者はどこに向かう？

分析 視点

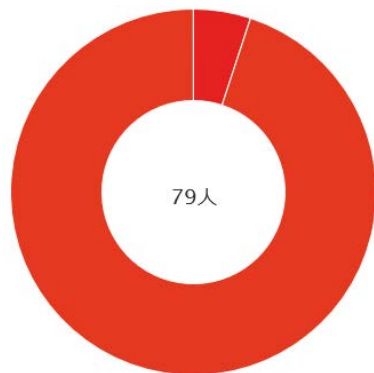
転出先や転入元を把握し、近隣地域との関係性や転出入の背景や要因を把握します。
世代別や性別ごとの要因を捉えて、地域の特性に応じた対策を検討します。

鹿児島県伊佐市 From-to分析 (定住人口)

2019年

転入超過数内訳

総数



転出超過数内訳

総数



- 1位 鹿児島県薩摩川内市 4人 (5.06%)
- 2位 その他 75人 (94.94%)

- 1位 鹿児島県始良市 44人 (20.85%)
- 2位 鹿児島県鹿児島市 31人 (14.69%)
- 3位 福岡県福岡市 25人 (11.85%)
- 4位 鹿児島県霧島市 20人 (9.48%)
- 5位 鹿児島県奄美市 16人 (7.58%)

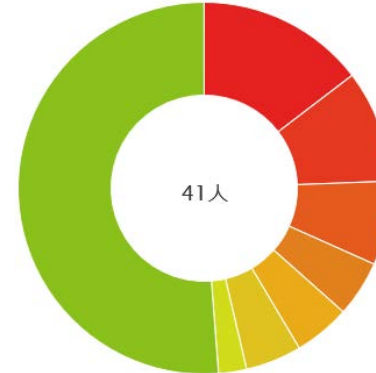
【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

鹿児島県伊佐市 From-to分析 (定住人口)

2019年

転入超過数内訳

総数 20歳台

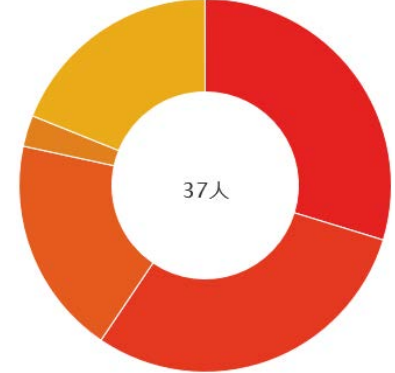


- 1位 鹿児島県薩摩川内市 6人 (14.63%)
- 2位 鹿児島県日置市 4人 (9.76%)
- 3位 鹿児島県出水市 3人 (7.32%)
- 4位 鹿児島県湧水町 2人 (4.88%)
- 4位 鹿児島県さつま町 2人 (4.88%)
- 4位 熊本県熊本市 2人 (4.88%)

【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

転出超過数内訳

総数 20歳台



- 1位 鹿児島県始良市 11人 (29.73%)
- 1位 鹿児島県鹿児島市 11人 (29.73%)
- 3位 福岡県福岡市 7人 (18.92%)
- 4位 鹿児島県霧島市 1人 (2.70%)
- 5位 その他 7人 (18.92%)

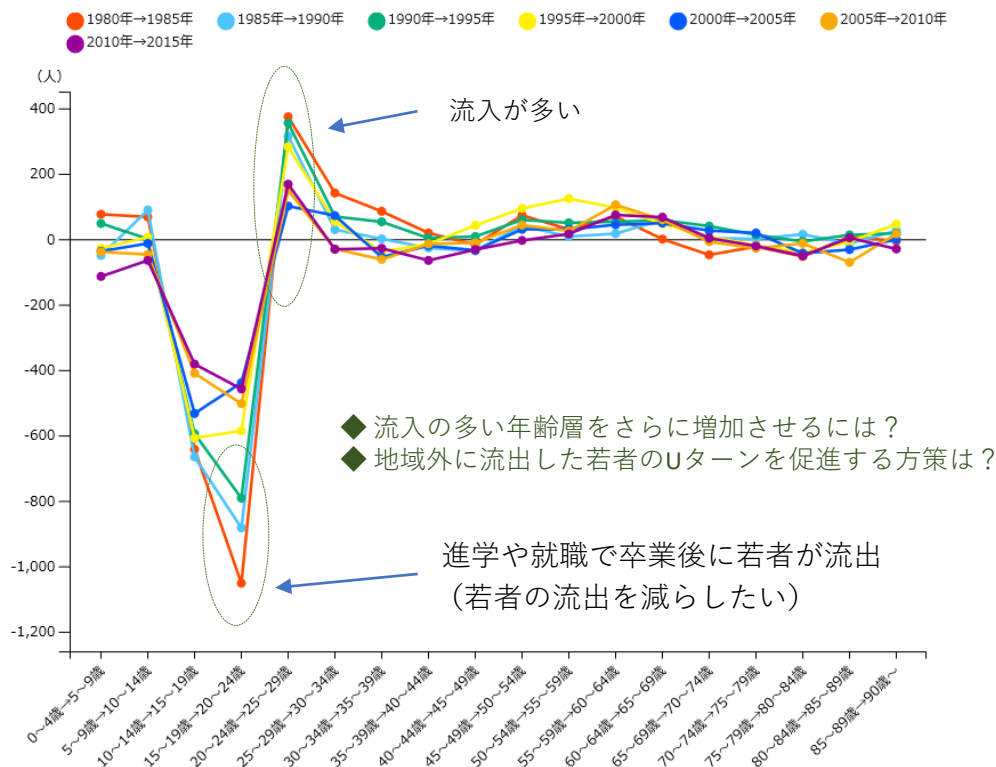
■ 総数（左側の2つの円グラフ）、20歳台（右側の2つの円グラフ）ともに、伊佐市からの転出超過先は始良市が最も多いが、転入元は薩摩川内市が最も多い。

(社会増減) 転入や転出が多いのは、どの年齢層？

分析
視点

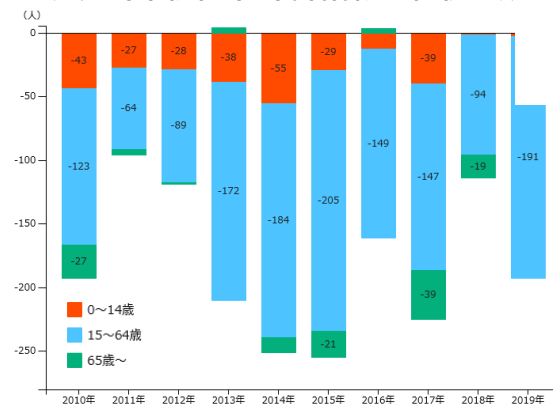
年齢階級別の純移動数を見ることにより、移動時期やその背景にある要因を分析。
今後の効果的な人口流入促進策を検討します。

鹿児島県伊佐市 年齢階級別純移動数の時系列分析



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づき
まち・ひと・しごと創生本部作成

鹿児島市伊佐市 年齢階級別純移動数



【出典】総務省「住民基本台帳人口移動報告」

RESAS Key Point

純移動数 = 転入数 - 転出数です。年齢階級別の移動の特徴をデータで把握したうえで、その要因や原因をヒアリング等により把握します。（例えば、市内の宅地開発によるファミリー層の転入等。）

内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生



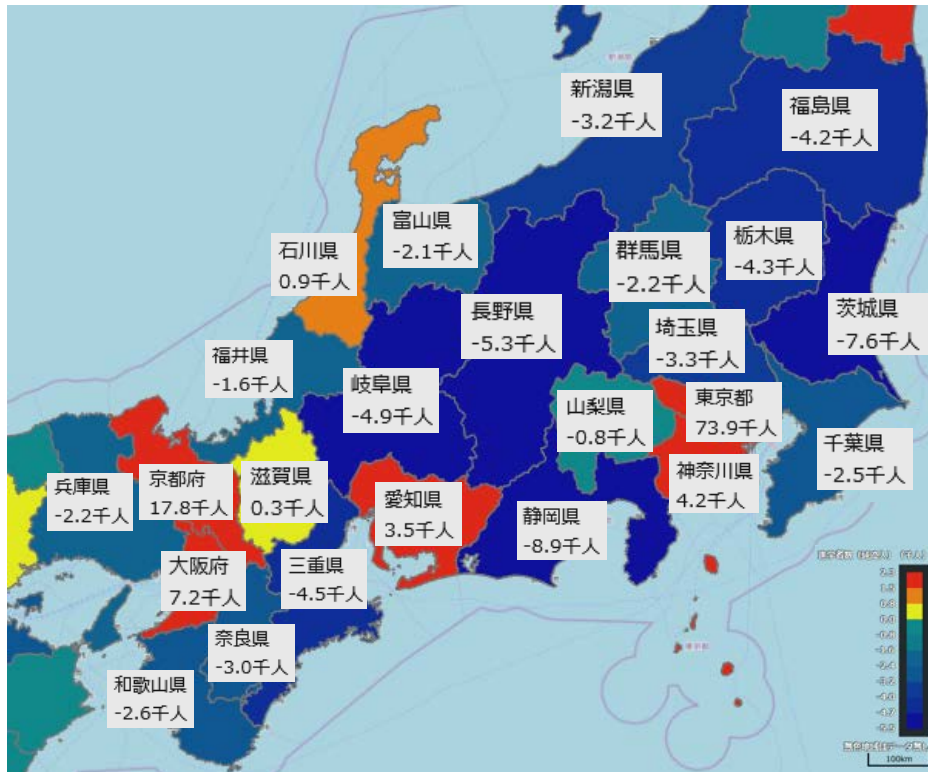
- 年齢階層別では、純移動数（＝転入数－転出数）がマイナスなのは「15～19歳→20～24歳」の年齢階級。
- 一方で純移動数がプラスなのは、「20～24歳→25～29歳」の年齢階級。

大学進学による人口移動は？（関東～近畿地方）

分析
視点

大学進学による地域間の流出入状況を都道府県単位で把握します。

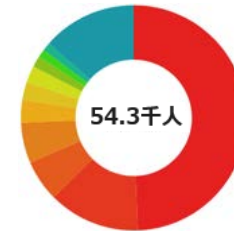
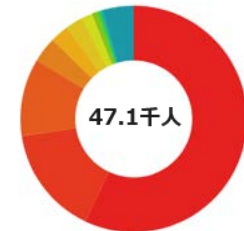
大学進学の際の純流入の傾向（2018年）



【出典】厚生労働省「雇用動向調査」、文部科学省「学校基本調査」

都道府県間の流出入状況（同地域間を含む）

2018年 大阪府 大学進学 総数

流入進学者
(同地域間を含む)流出進学者
(同地域間を含む)大阪府内の
高校卒業生
で大阪府内
の大学に進
学した人数大阪府内の
高校卒業生
で大阪府内
の大学に進
学した人数兵庫県内の
高校卒業生
で大阪府内
の大学に進
学した人数大阪府内の
高校卒業生
で京都府内
の大学に進
学した人数

流入進学者 (同地域間を含む)	流出進学者 (同地域間を含む)
1位 大阪府 26.9千人 (49.44%)	1位 大阪府 26.9千人 (57.01%)
2位 兵庫県 7.1千人 (13.10%)	2位 京都府 7.3千人 (15.54%)
3位 奈良県 3.2千人 (5.96%)	3位 兵庫県 5.2千人 (11.10%)
4位 京都府 3.2千人 (5.81%)	4位 奈良県 1.7千人 (3.64%)
5位 和歌山県 1.8千人 (3.28%)	5位 東京都 1.2千人 (2.62%)
6位 海外等 1.4千人 (2.55%)	6位 滋賀県 1.2千人 (2.54%)
7位 滋賀県 1.3千人 (2.41%)	7位 和歌山県 0.7千人 (1.52%)
8位 広島県 0.8千人 (1.56%)	8位 神奈川県 0.3千人 (0.71%)
9位 岡山県 0.6千人 (1.19%)	9位 北海道 0.2千人 (0.42%)
10位 香川県 0.6千人 (1.17%)	10位 愛知県 0.2千人 (0.41%)
その他 7.3千人 (13.53%)	その他 2.1千人 (4.49%)

【出典】文部科学省「学校基本調査」

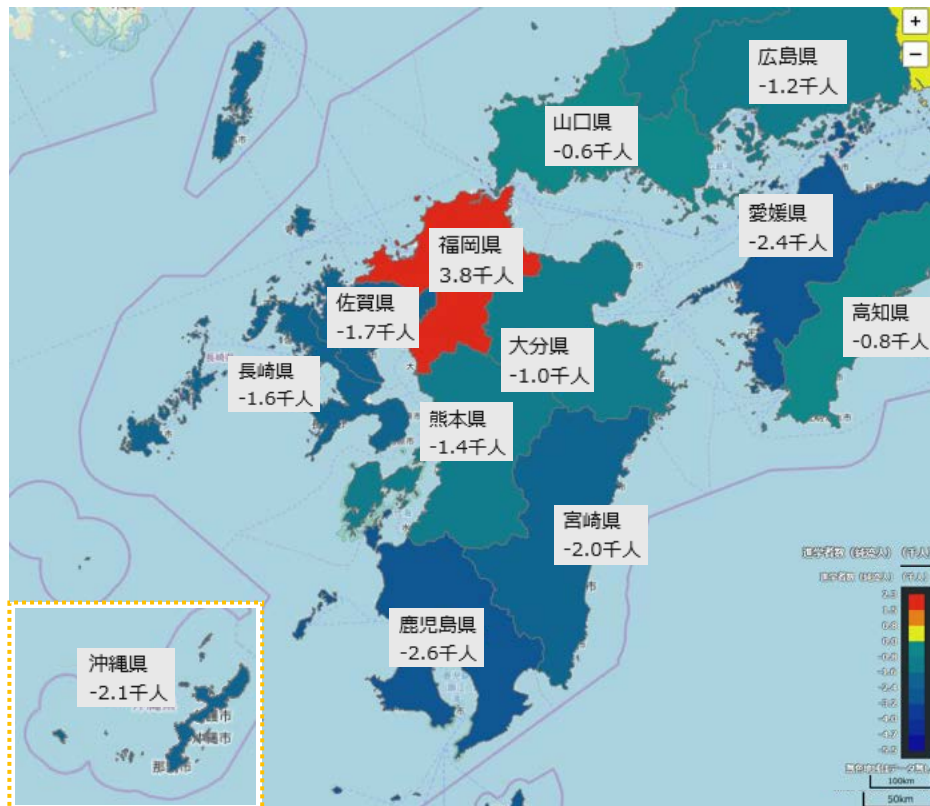
- 大阪府における大学進学の際の他都道府県との流出入状況をみると約7.2千人の流入超過となっている。
- 大阪府内の大学への流入は、兵庫県からが多い。一方、大学進学に伴う流出先は、大阪府に次いで京都府が多い。

大学進学による人口移動は？（九州・沖縄地方）

分析
視点

大学進学による地域間の流出入状況を都道府県単位で把握します。

大学進学の際の純流入の傾向（2018年）



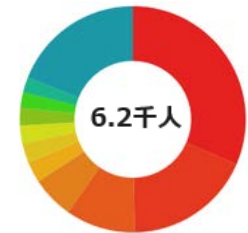
【出典】厚生労働省「雇用動向調査」、文部科学省「学校基本調査」

都道府県間の流出入状況（同地域間を含む）

2018年 鹿児島県 大学進学 総数

流入進学者
(同地域間を含む)

鹿児島県内の
高校卒業
者で鹿児島
県内の大学
に進学した
人数

流出進学者
(同地域間を含む)

鹿児島県内の
高校卒業
者で鹿児島
県内の大学
に進学した
人数

福岡県内の
高校卒業
者で鹿児島
県内の大学
に進学した
人数

鹿児島県内の
高校卒業
者で福岡県
内の大学
に進学した
人数

1位 鹿児島県 2.0千人 (54.36%)	1位 鹿児島県 2.0千人 (31.52%)
2位 福岡県 0.3千人 (7.09%)	2位 福岡県 1.1千人 (18.21%)
3位 宮崎県 0.2千人 (6.45%)	3位 東京都 0.6千人 (9.96%)
4位 熊本県 0.2千人 (6.17%)	4位 熊本県 0.4千人 (6.06%)
5位 海外等 0.2千人 (6.00%)	5位 大阪府 0.2千人 (3.03%)
6位 長崎県 0.1千人 (3.89%)	6位 神奈川県 0.2千人 (2.79%)
7位 大分県 0.1千人 (2.03%)	7位 宮崎県 0.2千人 (2.58%)
8位 佐賀県 0.0千人 (1.25%)	8位 京都府 0.2千人 (2.48%)
9位 広島県 0.0千人 (1.08%)	9位 長崎県 0.1千人 (2.22%)
10位 山口県 0.0千人 (1.03%)	10位 広島県 0.1千人 (2.21%)
その他 0.4千人 (10.65%)	その他 1.2千人 (18.94%)

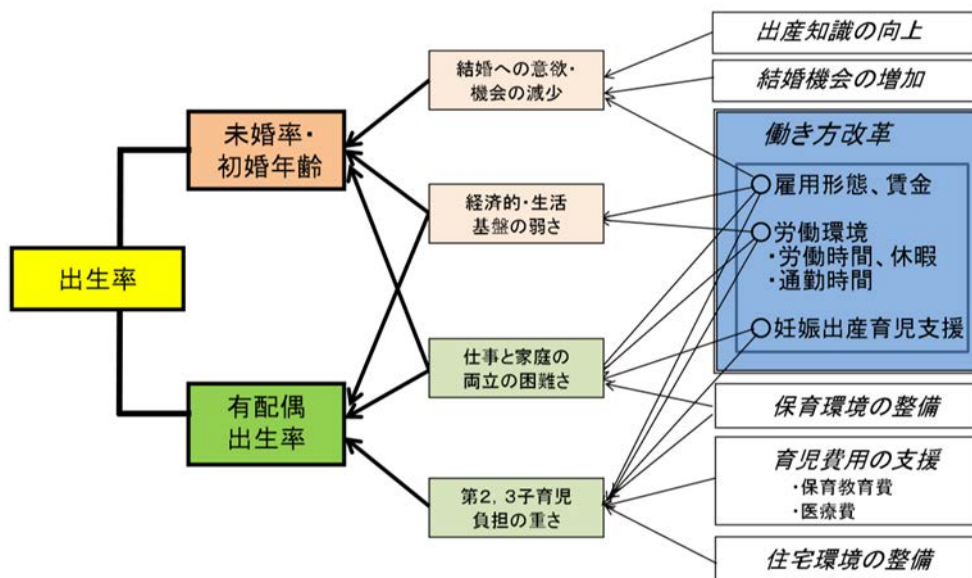
【出典】文部科学省「学校基本調査」

- 鹿児島県における大学進学の際の他都道府県との流出入状況をみると約**2.6千人の流出超過**となっている。
- 鹿児島県内の大学への流入は、福岡県からが多い。一方、大学進学に伴う流出先は、福岡県に次いで東京都が多い。

分析 視点

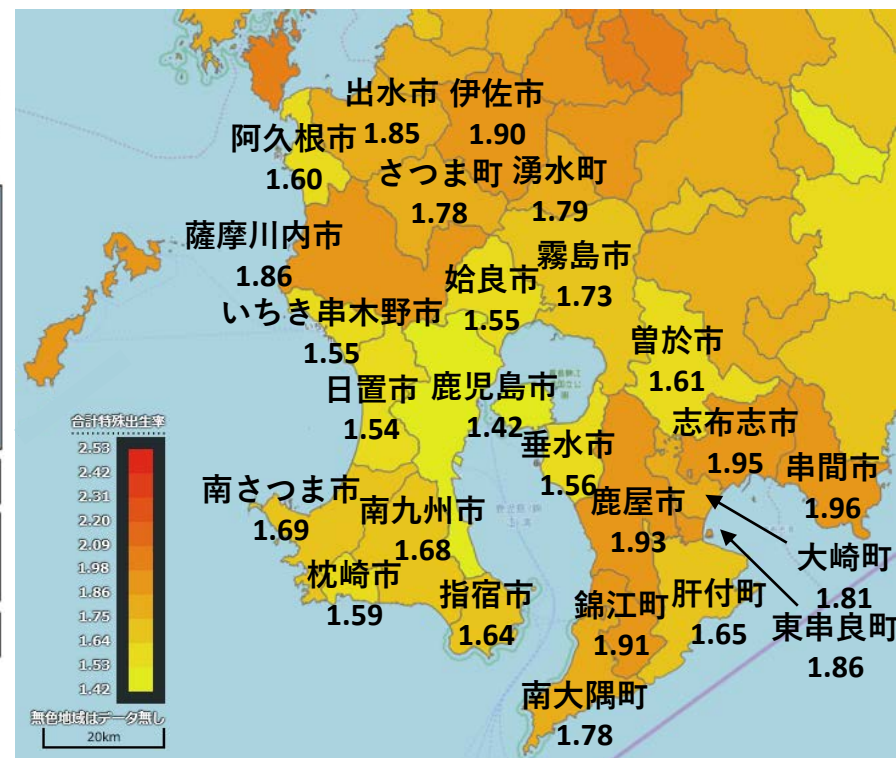
地域の合計特殊出生率の動向を把握し、出生率と関連する指標との関連性を調査したり、出生率を向上させる上で参考となる地域を見つけるなど、出生率向上策の基礎資料として活用します。

出生率の決定要因分析



【出典】内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「地域少子化対策検証プロジェクト」より抜粋

合計特殊出生率（2008～2012年）



【出典】厚生労働省「人口動態調査」

- 鹿児島県内で2008年から2012年の合計特殊出生率が最も高いのは串間市の1.96で、以下、志布志市（1.95）、錦江町（1.91）と続いている。

人口減少問題 ～若者の人口は減少、高齢者の人口が増加～ 人口減少によってもたらされる影響は以下の3つが挙げられる

①行政に及ぼす影響

少子高齢化により、税収等の落ち込みが予想されるため、既存の行政サービス（公共施設・公共交通機関・インフラ）の維持が困難になるなどの影響が懸念される。また、年金・医療・介護等の社会保障の支出が増大。若者1人が支える高齢者数も増加するなど、社会保障制度の維持が困難な状況につながることを懸念される。

②産業に及ぼす影響

少子高齢化により、地域の産業を支える生産年齢人口が減少。地域の産業の担い手が不足する事態を招き、地域の経済成長を引き下げることが懸念される。

また、貯蓄を取り崩すと考えられる退職者の増加に伴って貯蓄率は低下。このことが、地域の金融機関等の貸付余力の低下を招き、企業等の投資が抑制され、将来の資本ストックの成長を阻害することが懸念される。

③地域住民に及ぼす影響

地域の人口減少は、一定数の人口の上に成り立つ身近な各種サービス（小売、飲食、娯楽、医療など）が縮小。日常生活が不便となり、このことが更なる人口流出に伴う人口減少を引き起こすといった悪循環につながる。

住民組織の担い手不足による地域の伝統的な行事や地域コミュニティの消滅など、地域の活力を低下させる様々な障害につながることを懸念される。

演習 地域の人口 まとめシート

RESAS及びその他の統計データから地域の人口の特徴を調べてシートに整理します。

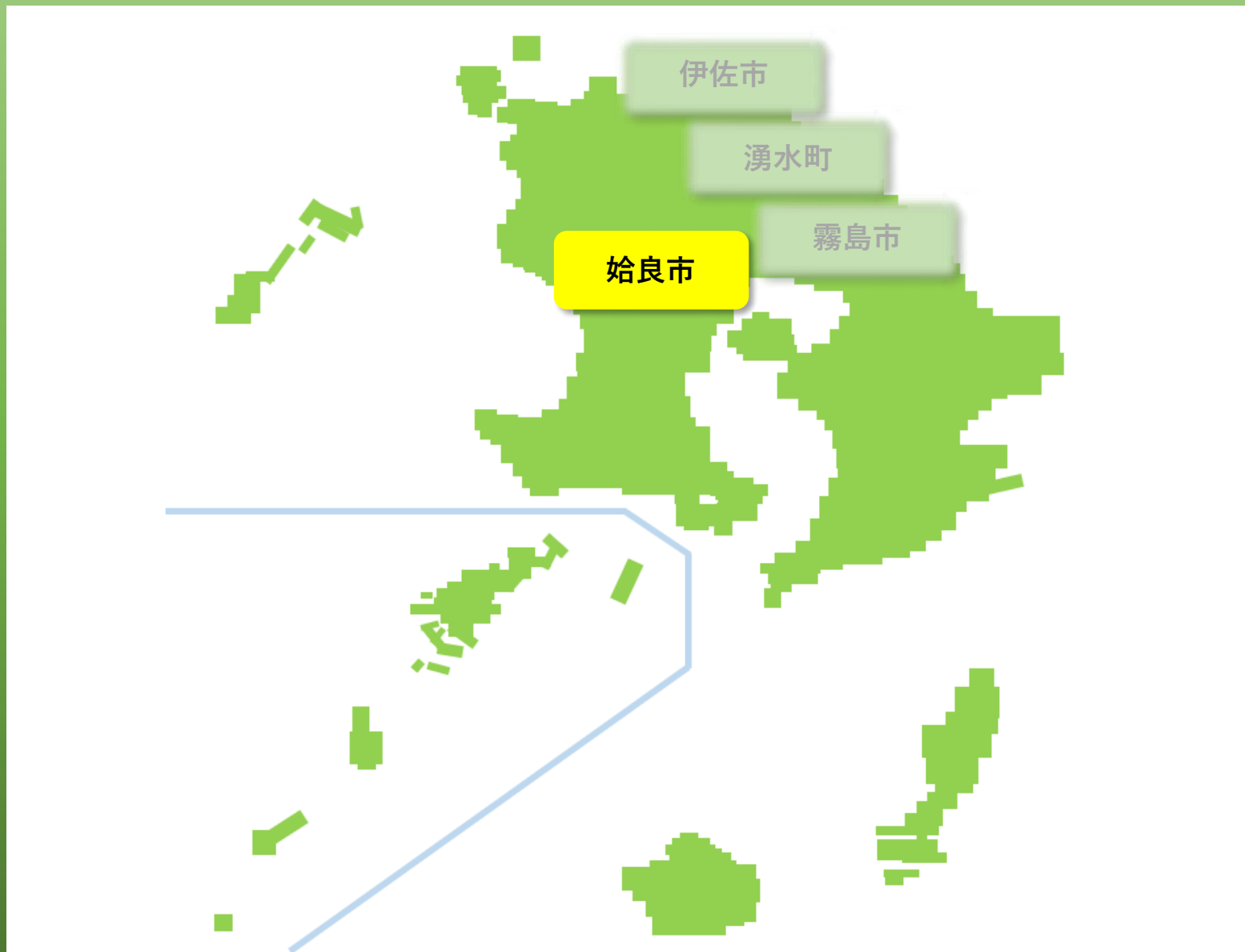
項 目	内 容	RESAS 操作
地域の人口の推移は？	人口推移	人口マップ>人口構成>人口推移
地域の人口ピラミッドの変化は？	人口ピラミッド	人口マップ>人口構成>人口ピラミッド
社会増減・自然増減 地域の人口が増減する要因は？	出生数・死亡数 / 転入数・転出数 自然増減・社会増減の推移	人口マップ>人口増減>グラフを表示
地域の転入・転出の状況は？ 大学進学による人口移動は？	From-to分析（定住人口） 年齢階級別純移動数 大学進学の際の純流入の傾向	人口マップ > 人口の社会増減 > From-to（定住人口） 人口マップ>人口の社会増減 >人口移動（グラフ分析） 人口マップ>新卒者の就職・進学
地域の出生率の状況は？	合計特殊出生率	人口マップ>人口の自然増減
まとめ 地域の人口の現状・課題		

05

經濟循環

Economic Circulation

今回の訪問は
薩摩藩の礎を築いた島津義弘公が関ヶ原の戦いの後で晩年を過ごした始良市です。



始良市 地域経済循環に関する分析のご相談



産業に関する分析のご相談

松本です。産業政策が担当です。次年度の計画策定に向けて地域の産業の特徴や現状を改めて整理しようと考えています。

特に、地域のお金の流れ（経済循環）を見極めて、地域外からお金を稼げる産業を特定したいと考えています。また、地域内で循環させる仕組みも重要と考えています。

RESASで地域経済循環に関連するデータを収集して分析する際に、どのようなところに着目すればよいのでしょうか？

RESASには地域経済循環に関する様々なデータが収録されています。

RESASは、域外からお金を獲得できる産業の特定や地域経済を牽引する地域の核となる産業を把握する際に役に立ちます。

さて、ご相談の内容ですが、さっそく分析の流れ（次ページ）を参考に、地域の経済循環に関する現状や課題を整理しましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

地域のお金の流れを把握・地域経済循環マップ

地域経済循環マップで生産・分配・支出の各段階におけるお金の流れを把握していきましょう。

分析 1 生産面の着眼点

付加価値額が最も大きい産業は？ 一人当たりの付加価値額の水準は？

分析 2 分配面の着眼点

所得の地域内外への流出入状況は？ 一人当たりの所得の水準は？

分析 3 消費面の着眼点

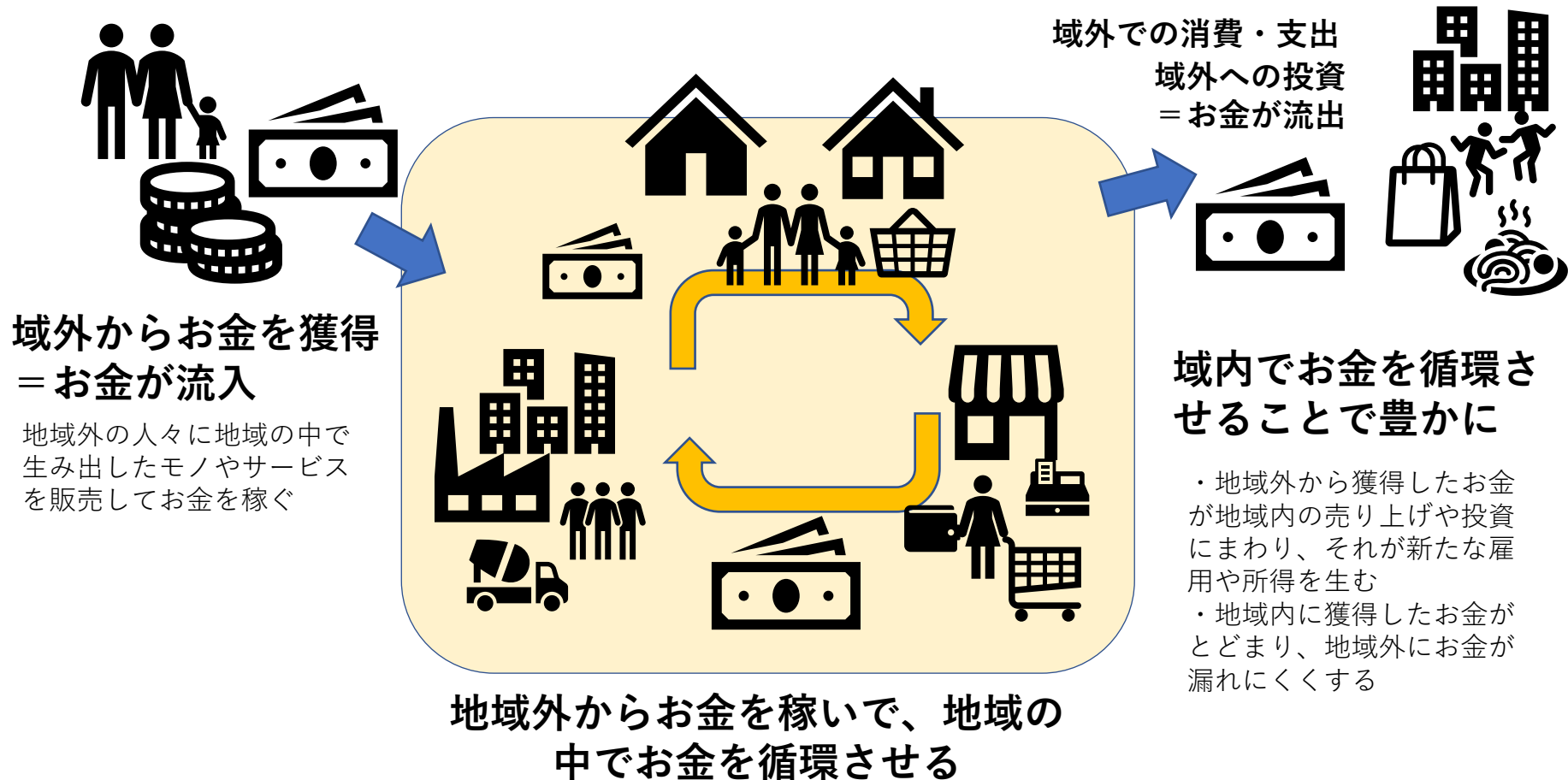
地域の消費を域内で吸収できているのか？
地域外からの投資を呼び込めているのか？
地域外からお金を獲得できるのはどの産業？

分析 4 地域外からお金を稼いでいる産業は、どの産業？

※ 目的に応じて様々な分析方法があります。上記はその一例です。

地域経済循環とは？

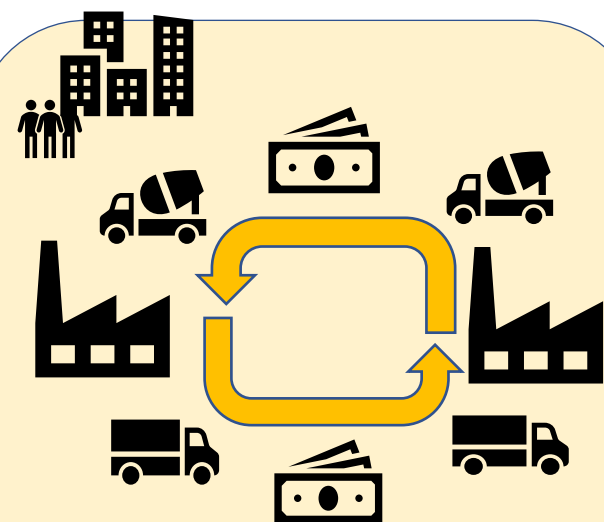
①地域内企業の経済活動を通じて**生産**された付加価値は、②労働者や企業の所得として**分配**され、③消費や投資として**支出**されて、再び地域内企業に還流する。このいずれかの過程で**地域外にお金が出た場合、地域経済が縮小する可能性がある**ため、上記の地域経済の循環を把握し、どこに課題があるのかを分析する必要がある。



◎自地域内の企業間の取引が活発であれば、地域内にお金をとどめることができる。自地域内の企業間の取引が少ないと、お金が地域内で循環しない。地域外にお金が漏出してしまふ。残念なのは、生産するための中間投入物を地域内で供給できる（可能性がある）のにしていないこと。

◎地域外からの仕入れに依存している理由は、①そもそも資源がない、②資源はあるものの供給できる企業が自地域にはない、③自地域内に供給企業はあるが技術や納期の問題がある。⇒ その場合は・・・自地域内で供給できる可能性はあるか？自地域に供給できる企業を誘致や育成が可能か？

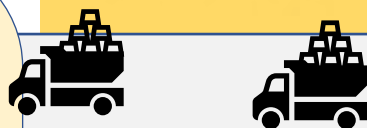
わたし達のまち



域内仕入、域内販売を増やすことで
⇒域内にお金を留めることができる

地域内にある企業同士が、モノをつくる途中の過程で、お互いの商品を仕入れたり、販売したり、できれば地域にお金が留まる。地域内でつくったモノを地域外に運んでいって地域外で販売すれば、地域外からお金が稼げる。

域外からの仕入れ



域外からの仕入として、購入したモノが私達の町に入ってくる

域外からの仕入をした代金としてお金は私達の町から流出する



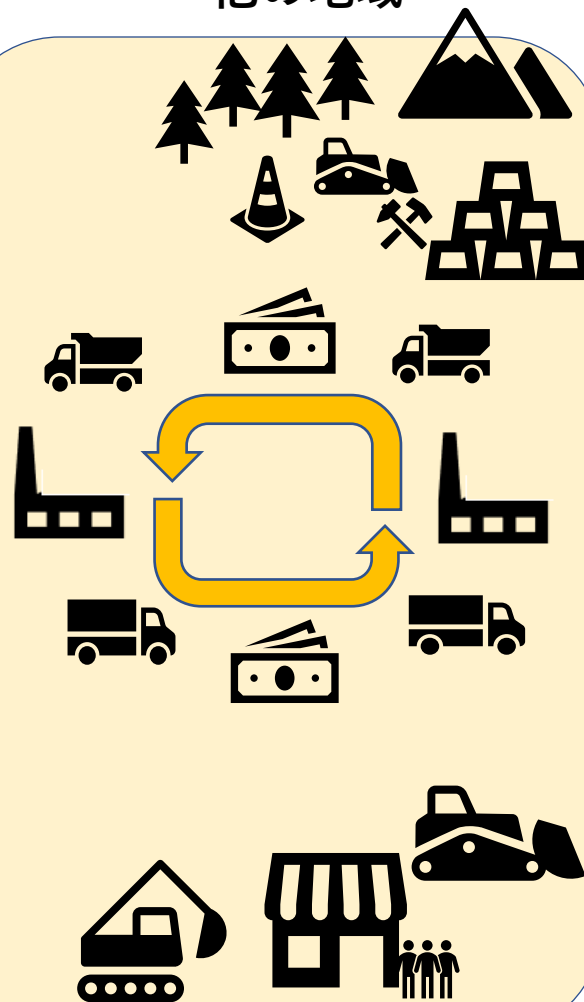
域外への販売

域外へ販売するためにモノが私達の町から他の地域に運ばれていく



域外へモノを販売した代金としてお金は私達の町に流入する

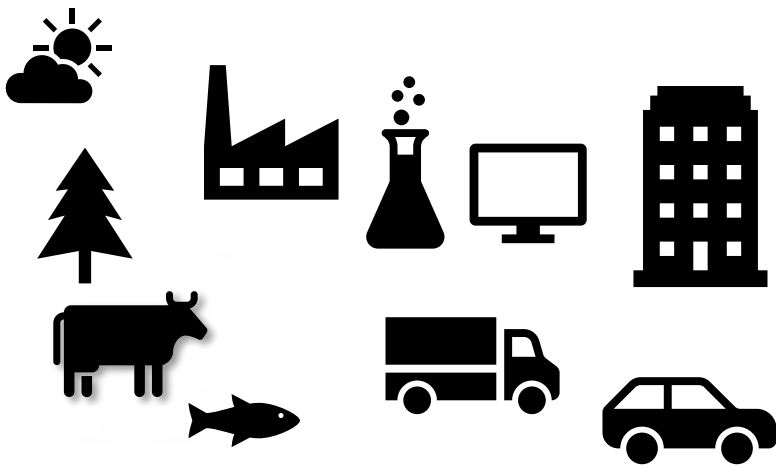
他の地域



まちの産業を2つに分類

域外市場産業（基盤産業）

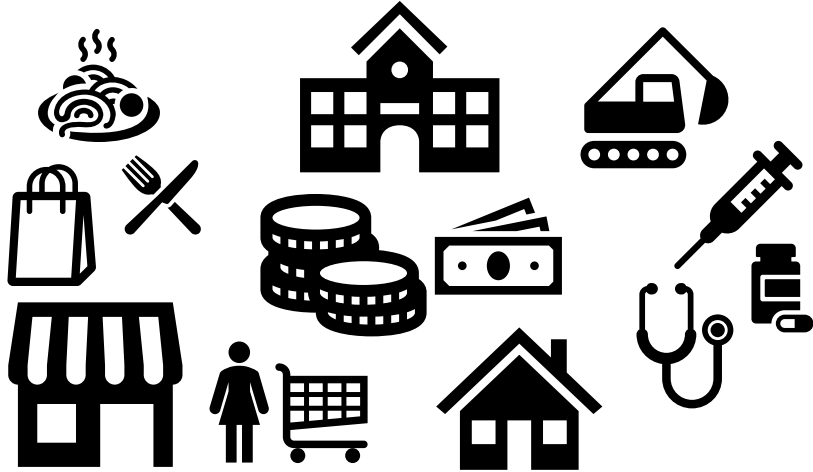
域外市場産業（基盤産業）：地域外を主たる販売市場とした産業。一般に農林漁業・鉱業・製造業・宿泊業・運輸業（特に水運）などが該当する。この域外市場産業（基盤産業）は、地域外からお金を稼げる、経済活性化の主要な担い手となる産業。所得の源泉となることから基盤産業とも定義される。



主たる販売市場は、域外の人や企業のため立地している地域の人口集積や企業集積とあまり関係なく経営が可能。
（例）製造業における工場部門、場所（土地、山、海）を必要とする農業、林業、水産業、鉱業。

域内市場産業（非基盤産業）

域内市場産業（非基盤産業）：域内を主たる販売市場としている産業で、建設業、小売業、対個人サービス、公共的サービス、公務、金融保険業（支店・営業所）、不動産業などが該当する。基盤産業によって外貨が獲得され、そこから派生需要で生まれる産業であることから非基盤産業とも言われる。



主たる販売市場は、地域の人や企業のため、ある程度の人口集積がなければ成立しない。
（例）行政サービス、対個人サービス（学校、コンビニ、郵便局、銀行支店、理容店、飲食店、不動産業、病院）
（例）対事業所サービス（会計事務所、広告業、運輸業等）

地域の経済循環を俯瞰する 生産・分配・支出の各段階におけるお金の流入・流出状況は？

●地域経済循環マップ＞地域経済循環図

地域経済循環率

71.3%

生産（付加価値額）を分配で割った
数値。地域経済の自立度を示す。
100%を超えると自立度が高い。

生産面の着眼点

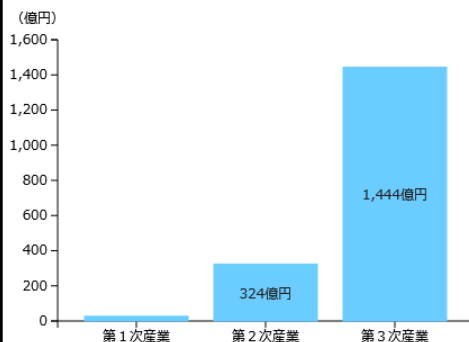
- ・付加価値額が最も大きい産業は？
- ・労働生産性は、他地域と比較して優位か？

所得への分配

1,794

生産（付加価値額）

生産面では、「稼ぐ力」を見る。



従業者 1人当たり付加価値額

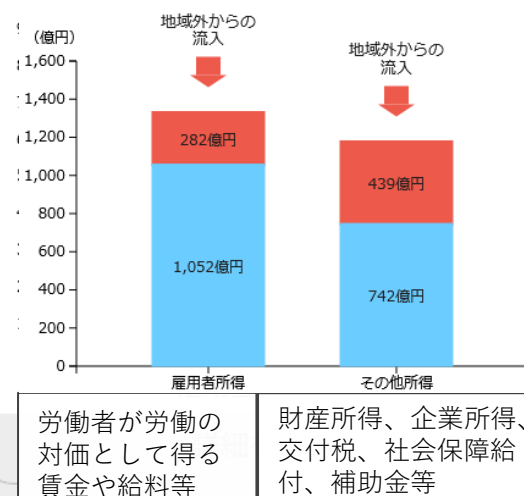
付加価値額 (一人当たり)	265万円	590万円	691万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	770位	1,308位	1,250位

地域経済循環図

2015年

指定地域：鹿児島県姶良市

分配（所得）



労働者が労働の
対価として得る
賃金や給料等

財産所得、企業所得、
交付税、社会保障給
付、補助金等

支出による生産への還流

10,534

分配面では、雇用者の通勤による所得の流入・流出、および企業の配当や国や県による再分配によるその他の所得の流入・流出を見る。

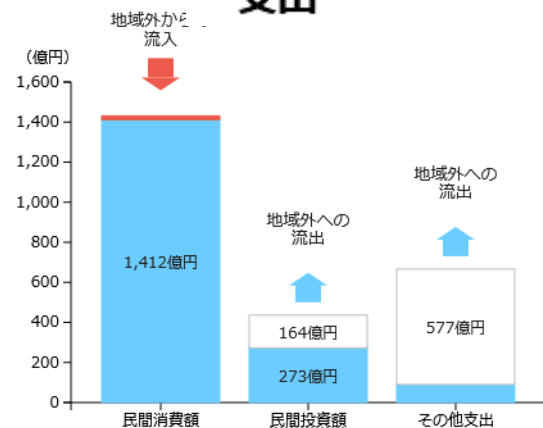
分配面の着眼点

- ・所得は域外に漏れているのか、流入しているのか？
- ・一人当たりの所得水準は、他地域と比較して優位と言えるのか？

所得からの支出

2,515

支出



支出面では、域外からの民間消費の流入・流出および民間投資（＝設備投資）の流出・流入を見る。

- ・地域住民の消費を域内で吸収できているのか？
- ・地域外からの投資を呼び込めているのか？
- ・地域外からお金を獲得できるのはどの産業か？

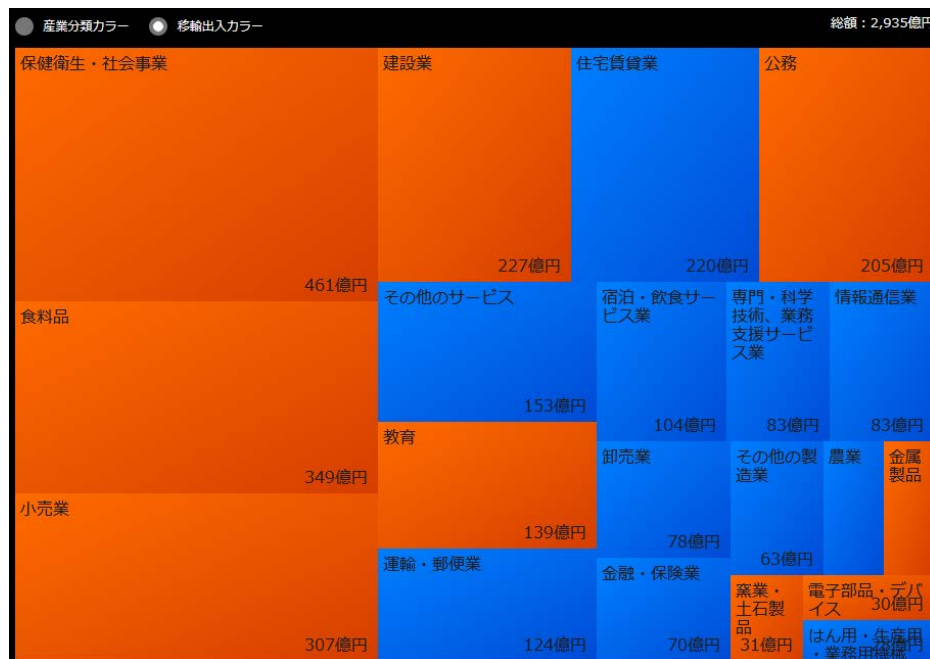
【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」
(株式会社価値総合研究所 (日本政策投資銀行グループ)
受託作成)
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

地域で生産額の大きな産業は、どの産業？

分析 視点

産業別の生産額を見ることで、地域の中で規模の大きな産業を把握します。

生産額（総額）2015年 鹿児島県姶良市（中分類）



【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

RESAS Key Point

生産額とは売上高のことです。左の図では、産業別の生産額の大きさが面積で示されています。生産額が最も大きな産業は「保健衛生・社会事業」です。

なお、左の図は産業別に「赤色」と「青色」の2色に塗られています。赤色の産業は、地域外から所得を獲得できる産業です。例えば、赤色の「食料品」の産業については、モノやサービスの取引で地域外に支払う金額よりも、地域外から受け取る金額の方が多い、つまり地域外からお金を稼ぐことができます。（移輸入額＜移輸出額）となります。

青色の産業は、モノやサービスの取引で地域外に支払う金額の方が、地域外から受け取る金額よりも多い、つまり地域外にお金が出ている産業です。地域に必要なものを地域外から調達することが多い産業です。（移輸入額＞移輸出額）となります。※次のページで詳しく見ていきましょう。



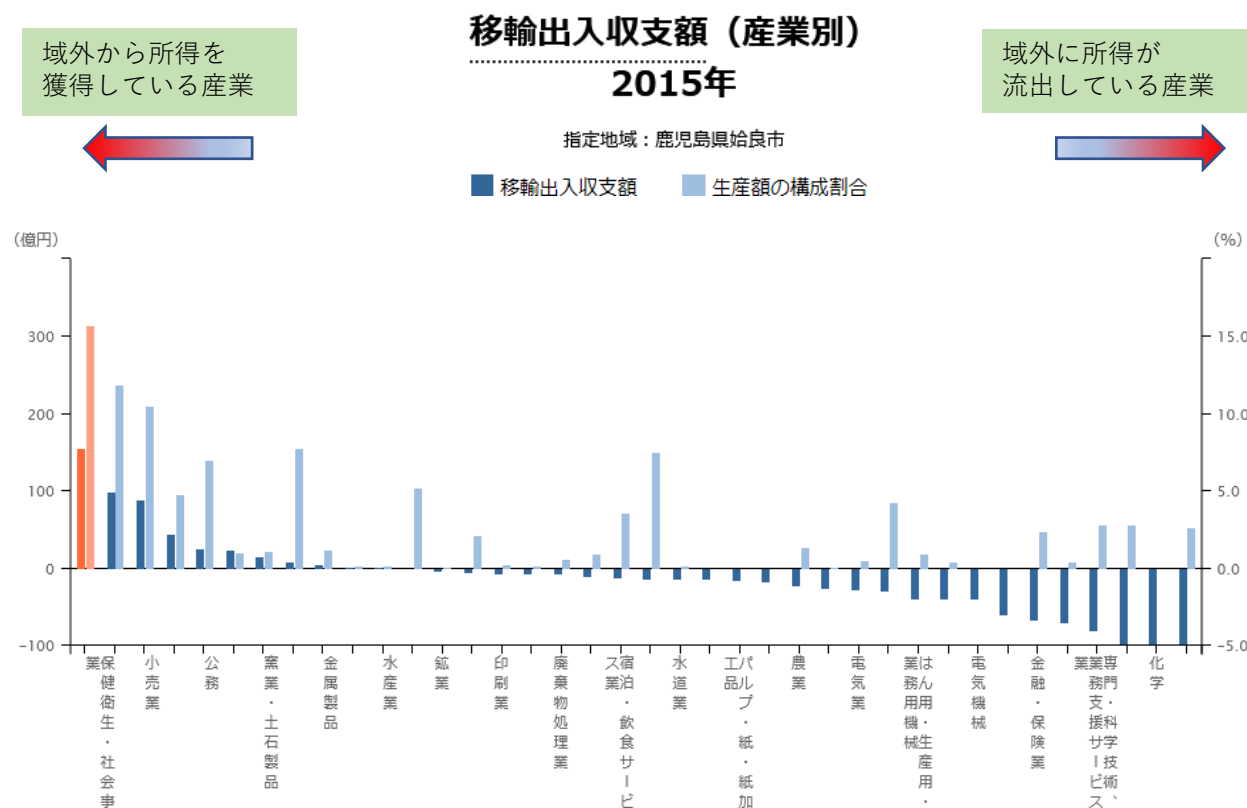
内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

- 姶良市で生産額が最も大きな産業は、「保健衛生・社会事業」です。第2位の「食料品」も大きな割合を占めています。姶良市では、「小売業」「建設業」も地域の経済を大きく支えています。

地域外からお金を稼いでいる産業は、どの産業？

分析視点

産業別の移輸出入収支額で、地域外からお金を稼いでいる産業を把握します。



RESAS Key Point

移輸出入収支額とは、当該産業が取引を通して、域外から受け取る金額（移輸出額）と域外に支払う金額（移輸入額）との差です。

移輸出入収支額がプラスの産業は（移輸出額＞移輸入額）。域外から所得を獲得している産業です。

移輸出入収支額がマイナスの産業は（移輸出額＜移輸入額）。域外に所得が流出している産業です。地域外から必要としているものを調達する金額の方が大きい産業です。



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

■ 始良市の中で移輸出入収支額がプラスの産業は、「保健衛生・社会事業」「食料品」等です。

●操作手順● 地域経済循環マップ＞生産分析＞「表示内容を指定する」で移輸出入収支額を選択、「表示産業を指定する」で中分類を指定

地域経済循環の全体像と、生産・分配・支出の各段階におけるお金の流出・流入の現状を把握します。

◎鹿児島県鹿児島市の地域経済循環図を見ると、生産面では第3次産業の付加価値額が大きい。

◎分配面では、雇用者所得の地域外流出がいくぶん見られる。地域外から通勤する雇用者への所得流出がある。その他所得は地域外からの流入がある。

◎支出面では、地域外からの民間消費で流入があるものの、民間投資や地域産業の移輸出入収支が流出になっているなど、地域外への流出が多いことが課題である。

鹿児島県鹿児島市の事例

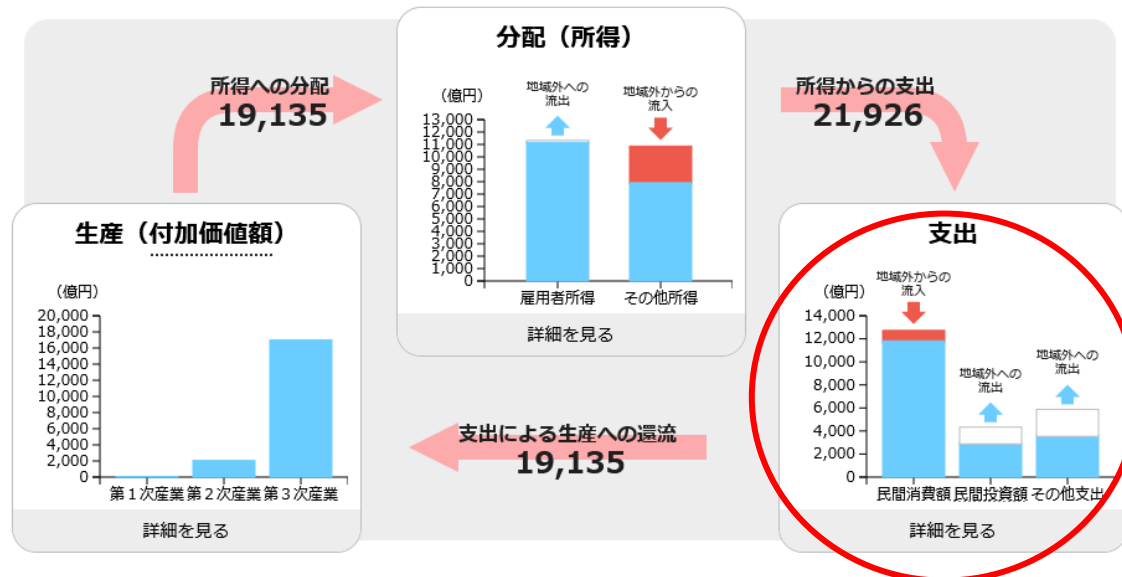
第3次産業の
付加価値額（一人当たり）
が産業別で最も高い

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	238万円	481万円	742万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	914位	1,551位	899位

地域経済循環率
87.3%

地域経済循環図
2015年

指定地域：鹿児島県鹿児島市



【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

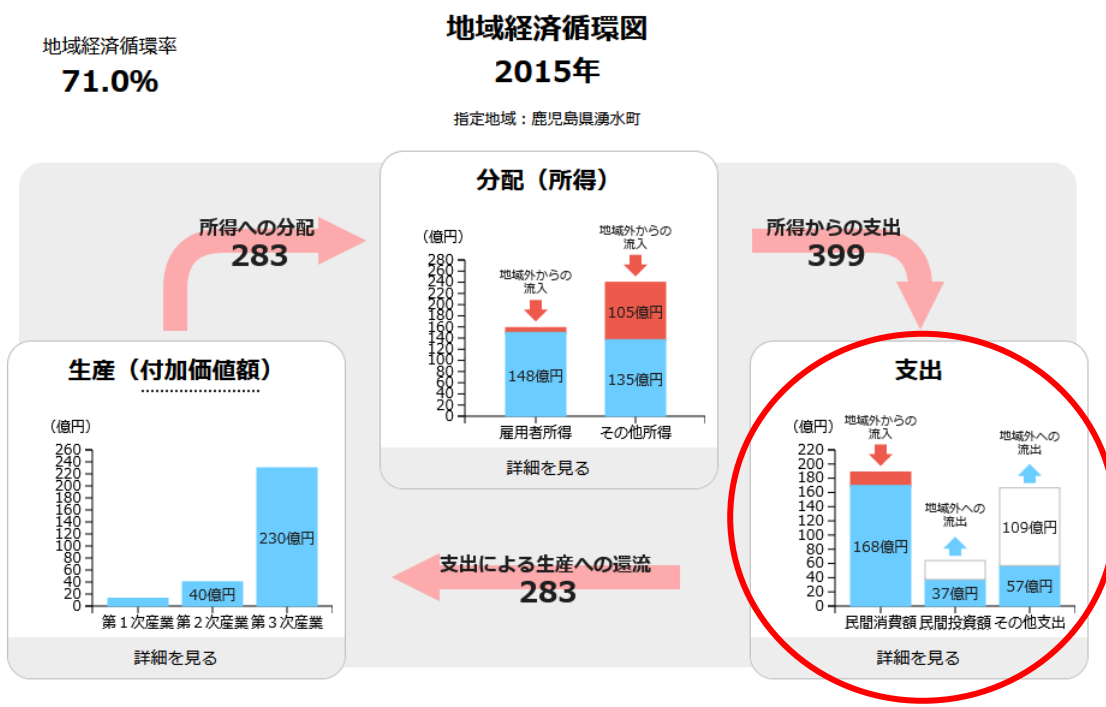
地域経済循環の全体像と、生産・分配・支出の各段階におけるお金の流出・流入の現状を把握します。例を参考に以下の（ ）内に読み解いた内容を記入します。

- ◎鹿児島県湧水町の地域経済循環図を見ると、生産面では（ ）
- ◎分配面では、（ ）
- ◎支出面では、（ ）

鹿児島県湧水町の事例

第3次産業の付加価値額（一人当たり）は（ ）

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額（一人当たり）	158万円	429万円	878万円
付加価値額（一人当たり）順位	1,458位	1,640位	253位



【出典】 環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

演習 地域経済循環 まとめシート

RESAS及びその他の統計データから地域の経済循環を調べてシートに整理します。

項 目	内 容	RESAS 操作
生産面の着眼点 付加価値額が最も大きい産業は？ 一人当たりの付加価値額の水準は？	産業別の付加価値額 一人当たり付加価値額	地域経済循環マップ > 地域経済循環図
分配面の着眼点 所得の地域内外への流出入状況は？ 一人当たりの所得の水準は？	雇用力 稼ぐ力	地域経済循環マップ > 地域経済循環図
消費面の着眼点 地域の消費を域内で吸収できているのか？ 地域外からの投資を呼び込めているのか？ 地域外からお金を獲得できるのはどの産業？	民間消費額 民間投資額 その他支出	地域経済循環マップ > 地域経済循環図
地域外からお金を稼いでいる産業は、 どの産業？	移輸入入収支額	地域経済循環マップ > 生産分析 > 「表示内容を指定する」で 移輸入入収支額を選択、表示 産業を指定する」で中分類を 指定

まとめ 地域の地域経済循環の現状・課題

0 6

産業

INDUSTRY

今回の訪問は

鹿児島県下第2位の広大な市域面積を有し、空港、高速道路、主要幹線道路、鉄道が整備されている交通の要衝、高い技術力を持つ企業が集積する“ものづくりのまち”である霧島市です。





産業に関する分析のご相談

吉田です。産業政策が担当です。

地域の産業の特徴を活かした効果の高い支援を検討するためにRESASで現状を整理しようと考えています。

従来、この地域は製造業が地域の雇用や経済を支えてきました。製造業といっても様々な産業があります。現在どのような産業が頑張っているのか現状をきちんと把握したいと考えています。

また、あまり特定の産業や企業に依存しすぎても、その動向次第では、地域全体が立ちゆかなくなる事になると困りますので、ある程度リスクが分散されたバランスのとれた産業構成になっているのかも気になります。

さらに、過去から現在までの長期的な視点から、地域で勢いのある産業の趨勢についても見極めたいと考えています。

RESASで、これら地域の産業に関連する情報を収集して分析する際に、どのようなところに着目すればよいでしょうか？

RESASには地域の産業に関する様々なデータが収録されています。

RESASを活用することで雇用面で地域を支えている産業や稼ぐ力のある産業、さらには、地域のなかでの主力産業の移り変わり等を把握する際に役に立ちます。

さて、ご相談の内容ですが、さっそく分析の流れ（次ページ）を参考に、地域の産業構造に関する現状や課題を整理しましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

地域の産業構造の把握・産業構造マップ

産業構造マップで、地域の産業の特徴や強み弱みを把握します。

分析 1 地域の産業の全体像は？ 地域の製造業の詳細は？

分析 2 雇用面で地域を支えている産業や稼ぐ力のある産業は？

分析 3 相対的に強みのある産業は？

分析 4 地域にある産業の移り変わりは？

分析 5 労働生産性の水準は？

※ 目的に応じて様々な分析方法があります。上記はその一例です。

地域の経済を支える主要産業は、どの産業か？

分析 視点

地域の産業の現状（付加価値額・売上高・従業者数）を把握し、地域の経済を支える主要産業を特定します。



RESAS Key Point

はじめに、地域の産業構造を把握し地域の経済を支える主要産業を特定しましょう。

地域の産業のなかで、

- ・ 付加価値を生み出している産業は？
- ・ 地域の雇用を支えている産業は？
- ・ 売上高が大きな産業は？

付加価値額、従業者数、売上高の観点で上位の産業を表にまとめましょう。



(大分類) まとめ

	付加価値額	売上高	従業者数
第1位	医療、福祉	卸売業小売業	製造業
第2位	卸売業小売業	製造業	卸売業小売業
第3位	製造業	建設業	医療、福祉



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工
【注記】会社数と個人事業所を合算。

- 鹿児島県霧島市の製造業の従業者数（第1位）、売上高（第2位）、付加価値額（第3位）と上位を占めていることがわかる。

地域の製造業の状況は？ 近隣自治体との連携の見込みは？

分析
視点

地域の製造業の現状（付加価値額・製造品出荷額等・従業者数）を中分類でより詳細に把握する。今後の効果的な産業支援策や近隣と産業連携策を検討します。



（製造業）まとめ

	付加価値額	製造品出荷額	従業者数
第1位	電子部品・デバイス・電子回路製造業	電子部品・デバイス・電子回路製造業	電子部品・デバイス・電子回路製造業
第2位	電気機械器具製造業	電気機械器具製造業	食料品製造業
第3位	生産用機械器具製造業	生産用機械器具製造業	生産用機械器具製造業

RESAS Key Point

地域の製造業の現状を一つの指標だけではなく、複数の指標を見比べることで、地域の産業構造を多面的に把握します。

また、RESASでは経済圏を一体的に見ることができる機能があります。近隣自治体との産業連携等の検討に活用できます。



内閣府RESAS専門委員
松浦 義昭 先生

RESAS製造業の比較 鹿児島県にある経済圏一覧

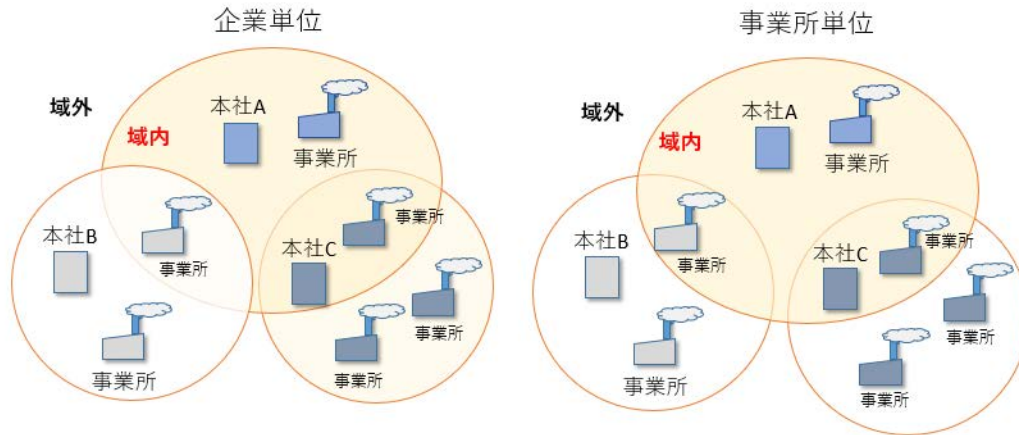
経済圏名	都道府県	市区町村
都城経済圏	宮崎県	都城市、三股町、高原町
	鹿児島県	曽於市
鹿児島経済圏	鹿児島県	鹿児島市、日置市、姶良市
鹿屋経済圏	鹿児島県	鹿屋市、大崎町、東串良町、錦江町、肝付町
枕崎経済圏	鹿児島県	枕崎市
薩摩川内経済圏	鹿児島県	薩摩川内市、いちき串木野市、さつま町
霧島経済圏	鹿児島県	霧島市、湧水町
奄美経済圏	鹿児島県	奄美市、大和村、龍郷町

【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

■ 霧島市の主要な製造業は、電子部品・デバイス・電子回路製造業であることがわかる。

地域の産業構造の把握・産業構造マップ

RESAS（経済センサス）データの「企業単位」と「事業所単位」の違いは？



企業単位では、本社ベースで集計している。
本社が域内にある場合、域外の事業所も含む。

事業所単位で集計している。
域内にある企業や事業所。

指標	表示単位	出典
付加価値額	企業単位	RESAS（経済センサス）
売上高	企業単位	RESAS（経済センサス）
事業所数	事業所単位	RESAS（経済センサス）
従業者数	事業所単位	RESAS（経済センサス）

RESAS Key Point

RESASで提供される経済センサスデータは「企業単位」と「事業所単位」の2種類があります。

データ（付加価値額、売上高、事業所数、従業者数）によって集計範囲が異なります。そのため、その違いを考慮して分析する必要があります。

- ・企業単位では、本社所在地における企業全体の集計がなされています。
- ・事業所単位では、本社・事業所所在地ごとの集計がなされています。



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

【用語詳細】企業単位：事業・活動を行う法人（外国の会社を除く。）及び個人経営の事業所。※本社の所在地にまとめて計上

事業所単位：経済活動が行われている場所ごとの単位で、原則として次の要件を備えているもの。

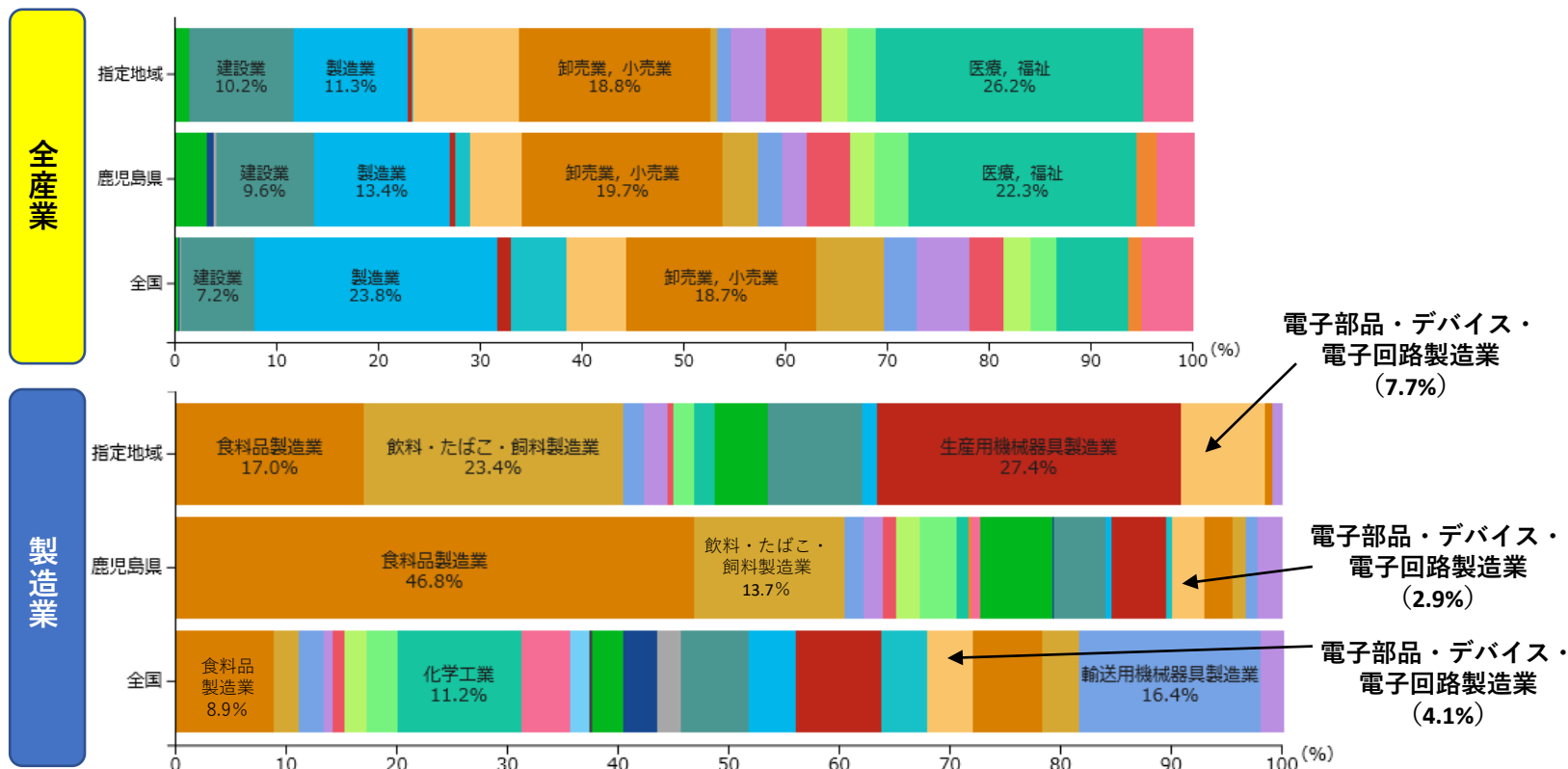
- 1) 一定の場所を占めて、単一の経営主体のもとで経済活動が行われていること
- 2) 従業者と設備を有して、物の生産や販売、サービスの提供が継続的に行われていること

地域を支えている主要産業は、どの産業？

分析 視点

地域内の産業構成比率を、県内全体や全国と比較して見ることにより、地域を支えている主要産業を把握する。地域特徴に応じた産業支援策を検討する。

付加価値額（企業単位） 2016年 指定地域：鹿児島県霧島市



【出典】総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

- 付加価値額では、全産業の中で医療、福祉が約1/4を占める。次いで卸売業・小売業、製造業の順である。
- 製造業の中では生産用機械器具製造業の割合が大きく、飲料・たばこ・飼料製造業とあわせると全体の約半分を占める。

(特化係数) 地域において相対的に強みのある産業は？

分析 視点

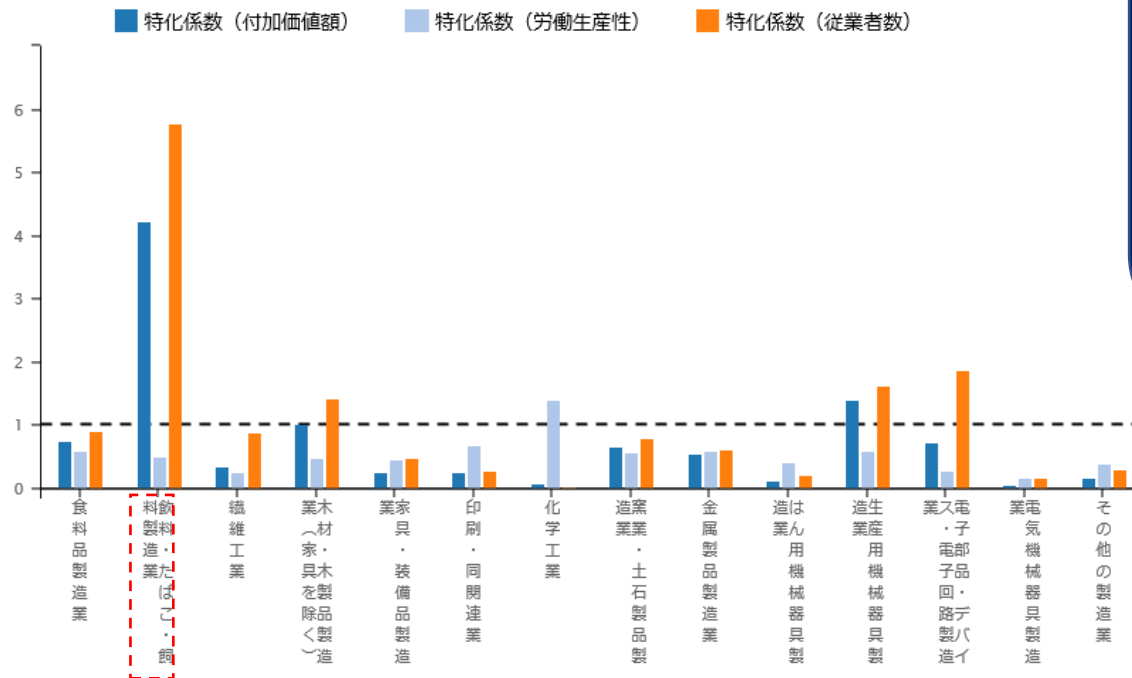
特化係数の分析を行うことを通して、全国平均（特化係数＝1）と比較して地域における相対的に強みのある産業を把握します。

産業別特化係数

2016年

指定地域：鹿児島県霧島市

指定産業：製造業



【出典】総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工

RESAS Key Point

特化係数とは、「ある地域内の産業のシェアや生産性が全国と比べてどれくらい高いか」を表す指標です。この特化係数の大きさから地域における当該産業の相対的な強みを把握しましょう。

また、各変数は以下のことを示しています。

- ・付加価値額：「どれだけ稼いでいるか」
- ・労働生産性：「どれだけ効率的な生産を行っているか」
- ・従業者数：「どれだけ多くの労働力を有しているか」



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

- 付加価値額、従業者数ともに最も特化係数が高いのは「飲料・たばこ・飼料製造業」である。

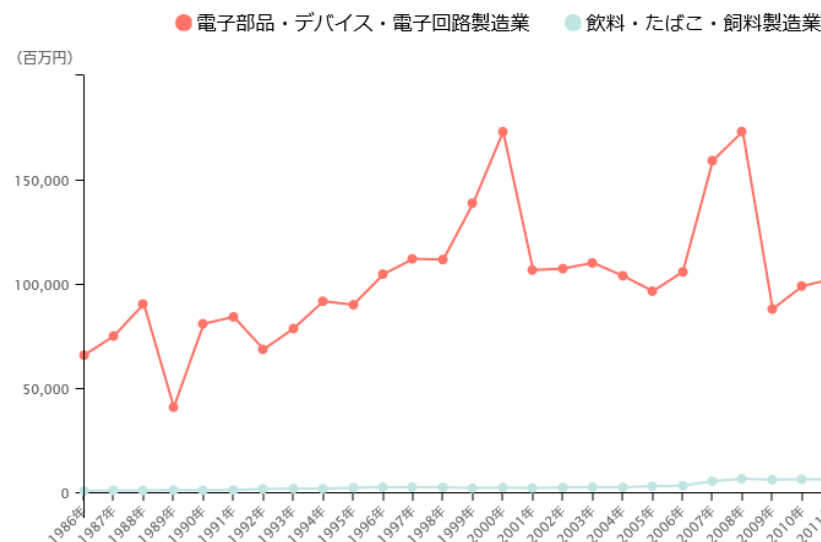
(付加価値) 地域を代表する産業は付加価値を稼いでいるか？

分析 視点

霧島市の主要な製造業である、飲料・たばこ・飼料製造業と電子部品・デバイス・電子回路製造業の付加価値の推移を見ることにより、当該産業の現在の勢いや過去からの変遷を把握します。

付加価値額（実数）の推移

鹿児島県霧島市
製造業すべての中分類



【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」【注記】労働生産性＝付加価値額÷常用従業者数

RESAS Key Point

付加価値額は、住民の所得や自治体の税収の源泉となることから、地域の豊かさと密接に結びついています。

付加価値額の増減率の要因分析についてはRESASの「付加価値変動の要因を分析」から、①事業所の寄与度＝工場数、②事業所当たり出荷額の寄与度＝生産量、③付加価値率の寄与度＝生産効率の3つの要因にわけて分析した内容を表示することができます。



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

- 電子部品・デバイス・電子回路製造業の付加価値額は、2000年代と2007、2008年の2度のピークをつけているものの変動幅は大きい。飲料・たばこ・飼料製造業の付加価値は安定して推移している。
- 両産業の付加価値額の差に着目すると、電子部品・デバイス・電子回路製造業の近年のボトム期である2013年から2015年にかけては約10倍程度の差に縮まっていたが、その他の時期にはその差は大きく開いており、直近の2017年には約24倍の差異である。

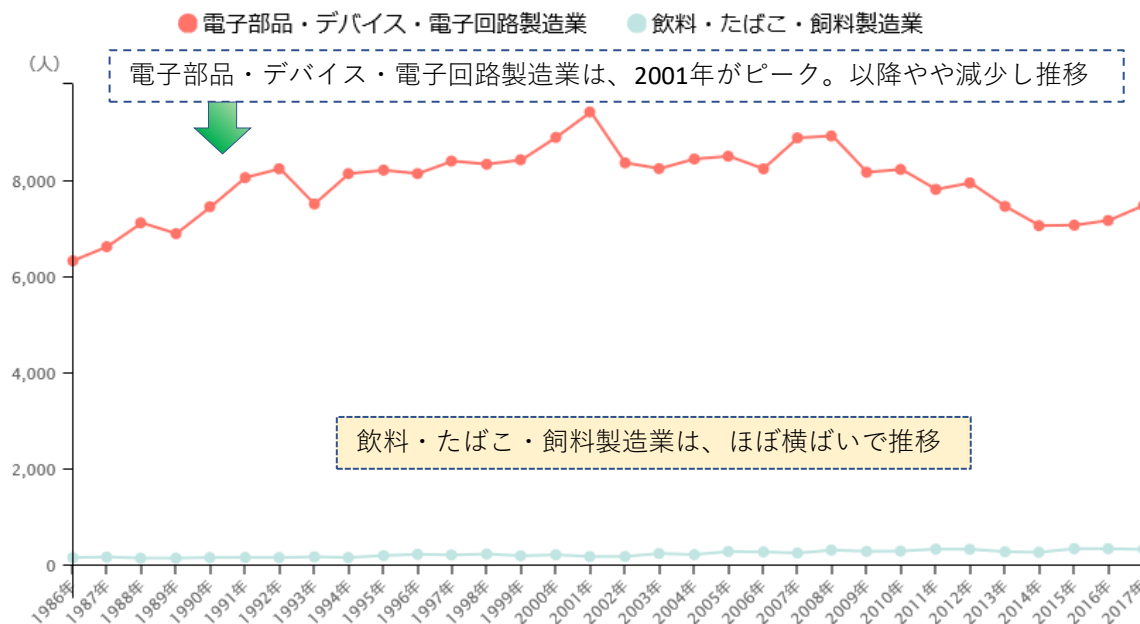
(従業者数) 雇用の受け皿になっている産業は？

分析 視点

どの産業が地域の雇用の受け皿になっているか、過去から現在までの変遷はどうかを見ることで、地域の主要産業の移り変わりを把握します。

常用従業者数（実数）の推移

鹿児島県霧島市
製造業すべての中分類



【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」
【注記】労働生産性＝付加価値額÷常用従業者数

RESAS Key Point

労働生産性＝付加価値額÷常用従業者数であることから、労働生産性について分子である付加価値額の向上を図るとともに、分母である常用従業者数を見ることにより今後の効果的な労働生産性向上策を検討します。

労働生産性については、前のページの付加価値額（分子）、このページの常用従業者数（分母）の推移の両方を見て、労働生産性の変化の要因を把握しましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

- 電子部品・デバイス・電子回路製造業の常用従業者数は、2001年をピークにやや減少し、推移している。
- 飲料・たばこ・飼料製造業の常用従業者数は、ほぼ横ばい傾向で安定的に推移している。

(労働生産性) 地域を代表する産業の労働生産性の推移は？

分析 視点

霧島市の主要な製造業である、電子部品・デバイス・電子回路製造業と飲料・たばこ・飼料製造業の労働生産性の推移を見ることにより、当該産業の現在の勢いや過去からの変遷を把握します。

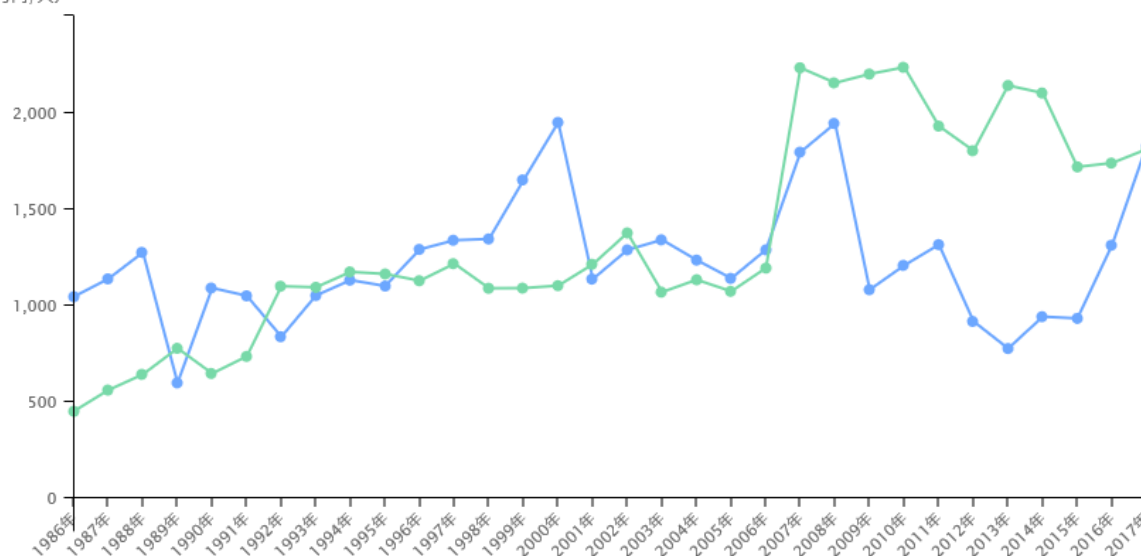
労働生産性（実数）の推移

鹿児島県霧島市

製造業すべての中分類

● 電子部品・デバイス・電子回路製造業 ● 飲料・たばこ・飼料製造業

(万円/人)



RESAS Key Point

労働生産性 = 付加価値額 ÷ 常用従業者数
です。

地域における労働力不足を克服するためには、労働生産性（従業員一人当たりの付加価値額）の向上が重要です。

当該産業の労働生産性を、域内の他産業や全国平均、県内平均と比較しましょう。



内閣府RESAS専門委員
松浦義昭先生

【出典】経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」

【注記】労働生産性 = 付加価値額 ÷ 常用従業者数

- 飲料・たばこ・飼料製造業の労働生産性は、80年代後半から2000年初頭までやや増加傾向を示していたが、2007年以降は大幅に増加している。電子部品・デバイス・電子回路製造業の労働生産性は2011年から2013年にかけて減少したが、2016年以降大きく増加している。

演習 地域の産業まとめシート

RESAS及びその他の統計データから地域の産業の特徴を調べてシートに整理します。

項 目	内 容	RESAS 操作
地域の産業の全体像は？ 地域の製造業の詳細は？	産業の現状（付加価値額・売上高・従業者数） 製造業の現状（付加価値額・製造品出荷額等・従業者数）	産業構造マップ>全産業>全産業の構造>表示分類を指定する>大分類 産業構造マップ>製造業>製造業の構造>表示分類を指定する>中分類
雇用面で地域を支えている産業や稼ぐ力のある産業は？	雇用力 稼ぐ力	統計Dashboard>地域の産業・雇用創造チャート
相対的に強みのある産業は？	産業別特化係数（付加価値額・労働生産性・従業者数）	産業構造マップ>全産業>稼ぐ力分析>グラフ分析
地域にある産業の移り変わりは？	付加価値額の推移 常用従業者数の推移 労働生産性の推移	産業構造マップ>製造業>製造業の構造

まとめ 地域の産業の現状・課題

コンテンツ利用について

1.コンテンツ利用に当たっては、出典を記載してください。引用時の記載例は以下を参考にして下さい。

(出典記載例)

出典：松浦義昭（2021）「地域経済分析システム（RESAS）」で読み解く鹿児島県の現在と未来
(当該ページのURL) (〇年〇月〇日に取得)

2. 第三者の権利を侵害しないようにしてください。

コンテンツの中には、第三者が著作権その他の権利を有している場合があります。第三者が著作権を有しているコンテンツや、第三者が著作権以外の権利を有しているコンテンツについては、特に権利処理済であることが明示されているものを除き、利用者の責任で、当該第三者から利用の許諾を得てください。

コンテンツのうち第三者が権利を有しているものについては、出典の表記等によって第三者が権利を有していることを直接的又は間接的に表示・示唆しているものもありますが、明確に第三者が権利を有している部分の特定・明示等を行っていないものもあります。利用する場合は利用者の責任において確認してください。